

養成したトヤマエビの成熟周期と交尾および産卵行動

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 村上, 恵祐
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014381

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



養成したトヤマエビの成熟周期と交尾および産卵行動

村上恵祐

天然親エビを養成し、産卵の間隔、抱卵期間、交尾および産卵行動について観察した。その結果、本種の産卵の間隔は約2年で、抱卵期間は約10ヶ月と推定された。交尾は横臥させた雌を雄が斜め十字の体勢で上から抱き込む“抱き込み型”であった。産卵は腹部を腹側に少し曲げ、生殖口を覆うように腹肢を前方に揃え、第3、第4胸脚と尾扇の先端で立ち上がって行う。産卵脱皮から産卵までは平均5.3日でほぼ一定しており、脱皮から交尾までの経過日数が長いほど、交尾から産卵までの日数が短くなる傾向が認められた。

栽培技研, 20(2), 65-72 (1992)